

【記入例】

フロン排出抑制法対応 推奨版

※赤い字の項目は必ず記載してください。記載がないとフロン排出抑制法に適合した書面になりません。

- 1 廃棄する機器の所有者等 (青色の字)
- 2 取次者 (茶色の字)
- 3 第一種フロン類充填回収業者 (紫色の字)

- A票に記入
 - ・廃棄する機器の所有者等：全て
 - ・取次者：氏名又は名称、住所、連絡先
- C票に記入
 - ・取次者
 - 担当者：部署名、氏名、フロン類の引渡し先にレ点、回付の年月日
 - ・第一種フロン類充填回収業者
 - 登録番号、登録都道府県、氏名又は名称、住所、連絡先
- E票に記入
 - ・第一種フロン類充填回収業者
 - 担当者：部署名、氏名、フロン類引き取り終了した年月日、引取証明書交付の年月日、充填回収技術者氏名
 - 回収量等：該当項目全て
- F票に記入
 - ・処理方法等：該当項目全て
 - ・引渡し先：該当項目全て

該当する時、レ点

代表者又は担当部署の担当者

エアコンディショナー：人の冷暖房用、冷蔵庫及び冷凍機器：物を冷却する機器

引渡し先にレ点

どちらかにレ点

代表者又は担当部署の担当者

引渡し先にレ点

第一種フロン類充填回収業者が都道府県知事から受けている登録番号を記入。都道府県のホームページ又は窓口で閲覧・確認できる

依頼をする第一種フロン類充填回収業者の名称等及び住所

代表者又は担当部署の担当者

処理方法について1~5のいずれかに○印し、引渡し先及び冷媒番号ごとに、量及びその冷媒番号を記入

引渡し先業者が複数いる場合は、F票をコピーして使用

フロン類の引渡し先業者の許可または登録を受けた都道府県及び許可・認定番号を記入

※1) 上記の1：破壊業者 2：再生業者 を選択し、別表「フロン類再生・破壊管理票」を使用する場合は、容器識別番号及びX票の伝票番号を必ず記入する。

※2) 引渡し先が複数ある場合は、F票をコピーして使用する。

※3) 引渡し先を「3：自ら再生」とした場合のみ記入する。

伝票番号は任意項目

委託確認書を交付する日

廃棄する機器の所有者等の名称等及び住所

引取りを依頼するフロン類が充填されている機器がある建物名及びその場所

C票を第一種フロン類充填回収業者に交付した日

フロン類をポンベに回収完了した日

E票(引取証明書)を取次者へ交付した日

フロン類の回収の現場に立ち会った若しくは回収した十分な知見を有する充填回収技術者

管理番号は任意項目

実際に回収した冷媒の種類と量及び機器の種類と台数

回収できなかった要因を判り易く記入

別表「フロン類再生・破壊管理票」を使用する場合は、その伝票番号も記入

容器識別番号を記入

処理を依頼する引渡し先を○で囲む

回収したフロン類の処理を依頼する引渡し先の住所及び名称等

回収したフロン類を処理先へ引き渡した日(自ら再生した冷媒を充填した場合は、その充填した日)